



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 帝国通信工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6763 URL <https://www.noble-j.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽生 満寿夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 丸山 睦雄 (TEL) 044-422-3831
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,689	0.6	222	△37.8	549	△24.0	358	△32.8
2023年3月期第1四半期	3,668	4.0	356	△28.8	722	34.5	534	26.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,027百万円(2.3%) 2023年3月期第1四半期 1,004百万円(36.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第1四半期	36	67	36	67
2023年3月期第1四半期	54	57	54	56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	31,298	26,330	82.4
2023年3月期	30,306	25,697	82.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 25,784百万円 2023年3月期 25,129百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00	—
2024年3月期	—	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	8,300	5.5	800	14.6	900	△32.7	600	△35.8	61	29
通期	16,500	0.0	1,500	△6.4	1,700	△22.4	1,200	△13.4	122	58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	10,141,833株	2023年3月期	10,141,833株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	352,983株	2023年3月期	352,468株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	9,789,130株	2023年3月期1Q	9,789,840株

(注) 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
製品別販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発する資源・エネルギー価格の高止まりや、米国におけるインフレ抑制を目的とした政策金利の上昇による景気後退懸念や円安の進行など、依然として景況感是不透明な状況が継続しております。加えて、中国ではゼロコロナ政策解除による景気回復が、不動産市況の低迷や設備投資の減速などにより停滞傾向が鮮明になっております。

当社グループの属するエレクトロニクス業界においては、自動車市場では半導体や一部の材料調達難が解消されてきておりますが、中間在庫の消化が進まず受注の回復が鈍化しております。家電市場ではコロナ特需の反動による需要減少や産業機器市場における半導体製造装置の減速や在庫調整の長期化から事業環境は厳しい状況が継続しております。

このような状況の中で当社グループは、2021年5月に策定した中期5ヵ年計画の第2ステップにあたる今期は、その目標達成に向けて、医療や産業機器分野への拡販を推し進め、既存領域の拡大を図り、また、非接触センサー開発などにより、顧客ニーズを捉えた新製品の展開を行ってまいりました。加えて、次期中期経営計画の課題となる新領域の確立の取組を進めており、さらに製造工場のDX化に向けた設備投資を進め、独自のI.o.T機能を持たせた製造ラインの導入・拡大や、省人化、無人化など生産性向上とコストダウンを継続的にを行い、競争力強化を進めてまいりました。

売上面では円安の効果もありましたが、一部顧客の在庫過多による生産調整などマイナス要因がありました。また利益面では資源・エネルギー価格の高止まりや、固定費の上昇により厳しい状況でしたが、生産性向上によるコストダウンによる競争力強化を推し進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は36億89百万円（前年同期比0.6%増）となりました。営業利益は2億22百万円（前年同期比37.8%減）、経常利益は5億49百万円（前年同期比24.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億58百万円（前年同期比32.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①電子部品

半導体や原材料調達難は継続しており、先進国を中心とした政策金利引き上げに伴う景気の減速などの影響を受けるなか、自動車電装向けは概ね予想通りの推移でした。またアミューズメント市場向けも順調に推移しましたが、生活家電向け、産業機器向けなどは、顧客の在庫調整などの影響を受け低調でした。引き続き先行調達や原価低減を図っていますが、資源・エネルギー価格の高止まりなどで固定費の上昇による影響も出ております。

この結果、電子部品の売上高は35億36百万円（前年同期比0.8%減）となり、営業利益は2億20百万円（前年同期比36.3%減）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

a. 日本

自動車電装向けやアミューズメント市場向けは順調でしたが、生活家電向け、産業機器向けや医療機器向けなどが、顧客の在庫調整などの影響を受け低調でした。また資源・エネルギー価格の高止まりなどで固定費の上昇による影響も受けております。

この結果、売上高は17億9百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益は25百万円（前年同期比82.5%減）となりました。

b. アジア

中国では、不動産市況の低迷や設備投資の減速などにより停滞傾向が鮮明になっており、エアコンや給湯器等の生活家電向けにおいて顧客の生産調整などの影響を受け低調でした。

その他アジア地域においては、AV機器向けが顧客の在庫調整などにより低調でしたが、全体的には経済活動が回復傾向にあり、為替の効果もあったことより好調に推移しました。

この結果、売上高は17億79百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は1億92百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

c. 北米

顧客の在庫過多による生産調整と先進国を中心とした政策金利引き上げに伴う景気の減速などの影響も受けており、北米の自動車電装向けやプロ用オーディオ向けなどが低調に推移しました。

この結果、売上高は47百万円（前年同期比32.2%減）、営業損失は7百万円（前年同期は7百万円の営業利益）となりました。

②その他

環境対応緩衝材は、医療機器向けや自動車電装向けが順調に推移しており、機械設備の製造販売も堅調でした。

この結果、その他事業の売上高は1億53百万円（前年同期比47.3%増）、営業利益は20百万円（前年同期比237.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ9億91百万円増加し312億98百万円となりました。その内訳は、流動資産が5億44百万円増加し196億19百万円、固定資産が4億46百万円増加し116億79百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ3億58百万円増加し49億67百万円となりました。その内訳は、流動負債が2億3百万円増加し28億66百万円、固定負債が1億54百万円増加し21億1百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ6億33百万円増加し263億30百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の82.9%から82.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表しました見通しに変更はございません。また、配当予想についても変更はございません。

今後、業績予想の修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

<業績等の予想に関する注意事項>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,400,128	11,358,876
受取手形及び売掛金	3,788,719	3,541,052
電子記録債権	728,743	653,843
有価証券	171,743	197,870
商品及び製品	1,708,449	1,758,736
仕掛品	795,343	753,151
原材料及び貯蔵品	1,058,348	956,935
その他	427,558	403,114
貸倒引当金	△4,493	△4,507
流動資産合計	19,074,540	19,619,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,932,128	1,905,418
機械装置及び運搬具（純額）	1,308,225	1,455,176
その他（純額）	1,184,476	1,016,350
有形固定資産合計	4,424,830	4,376,946
無形固定資産		
投資その他の資産	35,971	37,196
投資有価証券	2,982,252	3,486,965
退職給付に係る資産	3,269,527	3,262,337
その他	522,846	518,872
貸倒引当金	△3,216	△3,216
投資その他の資産合計	6,771,410	7,264,959
固定資産合計	11,232,212	11,679,102
資産合計	30,306,752	31,298,174
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	634,270	683,861
電子記録債務	456,206	526,418
短期借入金	41,776	42,877
未払法人税等	230,877	217,692
賞与引当金	384,706	214,888
役員賞与引当金	27,000	—
その他	887,516	1,180,428
流動負債合計	2,662,353	2,866,167
固定負債		
役員株式給付引当金	87,504	92,847
退職給付に係る負債	148,373	152,374
その他	1,711,058	1,856,014
固定負債合計	1,946,935	2,101,237
負債合計	4,609,289	4,967,404

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	14,184,134	14,247,397
自己株式	△791,414	△792,213
株主資本合計	22,302,112	22,364,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,558,797	1,943,758
為替換算調整勘定	867,864	1,104,013
退職給付に係る調整累計額	400,837	371,690
その他の包括利益累計額合計	2,827,499	3,419,462
新株予約権	654	654
非支配株主持分	567,196	546,077
純資産合計	25,697,462	26,330,769
負債純資産合計	30,306,752	31,298,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,668,201	3,689,250
売上原価	2,437,229	2,544,881
売上総利益	1,230,971	1,144,369
販売費及び一般管理費	874,106	922,356
営業利益	356,864	222,012
営業外収益		
受取利息	11,371	23,181
受取配当金	70,675	91,731
受取賃貸料	17,080	16,867
為替差益	271,748	195,392
その他	10,657	11,287
営業外収益合計	381,534	338,461
営業外費用		
支払利息	1,046	839
固定資産賃貸費用	12,582	6,533
その他	1,785	3,643
営業外費用合計	15,413	11,016
経常利益	722,985	549,457
税金等調整前四半期純利益	722,985	549,457
法人税等	145,575	145,038
四半期純利益	577,410	404,418
非支配株主に帰属する四半期純利益	43,207	45,450
親会社株主に帰属する四半期純利益	534,203	358,968

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	577,410	404,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76,291	382,793
為替換算調整勘定	544,263	269,408
退職給付に係る調整額	△40,942	△29,001
その他の包括利益合計	427,028	623,200
四半期包括利益	1,004,439	1,027,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	928,414	950,931
非支配株主に係る四半期包括利益	76,024	76,687

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 3
	電子部品 (千円) (注) 1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	3,564,221	103,979	3,668,201	—	3,668,201
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,000	144,546	146,546	△146,546	—
計	3,566,222	248,525	3,814,747	△146,546	3,668,201
セグメント利益	346,147	6,150	352,297	4,567	356,864

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	1,822,902	1,671,438	69,880	3,564,221	—	3,564,221
地域間の内部売上高 又は振替高	1,320,989	969,621	—	2,290,610	△2,288,609	2,000
計	3,143,891	2,641,060	69,880	5,854,831	△2,288,609	3,566,222
地域別利益	145,116	189,657	7,698	342,472	3,674	346,147

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 3
	電子部品 (千円) (注) 1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	3,536,061	153,188	3,689,250	—	3,689,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,000	34,664	35,665	△35,665	—
計	3,537,061	187,853	3,724,915	△35,665	3,689,250
セグメント利益	220,620	20,765	241,386	△19,373	222,012

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	1,709,008	1,779,671	47,381	3,536,061	—	3,536,061
地域間の内部売上高 又は振替高	1,410,372	950,825	—	2,361,197	△2,360,196	1,000
計	3,119,380	2,730,496	47,381	5,897,258	△2,360,196	3,537,061
地域別利益又は損失(△)	25,363	192,099	△7,914	209,548	11,072	220,620

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報
製品別販売実績

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%		%	
前面操作ブロック (千円)	864,601	23.6	798,007	21.6	92.3
可変抵抗器 (千円)	588,505	16.0	449,275	12.2	76.3
固定抵抗器 (千円)	559,768	15.3	396,583	10.8	70.8
センサー (千円)	795,492	21.7	1,146,347	31.1	144.1
機構部品 (千円)	525,097	14.3	523,830	14.2	99.8
その他の電子部品 (千円)	230,755	6.3	222,015	6.0	96.2
小計 (千円)	3,564,221	97.2	3,536,061	95.9	99.2
その他					
その他 (千円)	103,979	2.8	153,188	4.1	147.3
小計 (千円)	103,979	2.8	153,188	4.1	147.3
合計 (千円)	3,668,201	100.0	3,689,250	100.0	100.6